



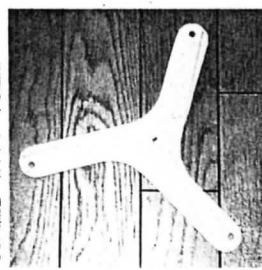
必ず戻ってくる!

日本唯一、ブーメランを飛行力学から研究する 西山豊大阪経済大助教授が考案! 室内用3枚翼ブーメラン



右利き用 ブーメランの 作り方

◀左の図を拡大コピー（大きさは自由だが、室内用としては142%が5適当）して型紙とし、堅めの厚紙を切り抜く。翼は水平にして、点線をひいた部分を折ってフラップを作る。表側を上にして山折りにすること。



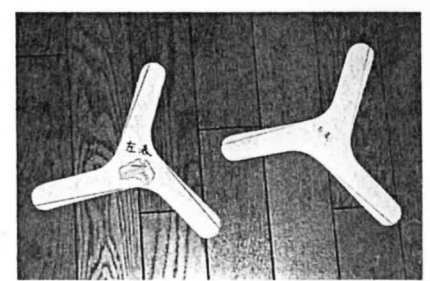
▶翼の先端部分に、直径5mm程度の穴を開けておくと、投げて回転するとき、風を切り、「シユルシユル」と音かしてカッコイイ。またブーメランそのものの重量を軽くする効果もある。

ブーメランを投げてもどってきたところをパシッ! とキャッチ……一度はやってみたけど、現実にはなかなか大変である。

まず、広い場所が必要だ。投げるのもむずかしい。風の向きや強さで投げ方が変わるし、無風でもダメ。そのうえ、かなりの速度でもどってくる木製やプラスチック製のブーメランのキャッチには危険が伴う。

「そこで、無風の室内でも飛び、2mほどでもどってきて、キャッチも怖くない紙製のブーメランを考案したんです」というのは、大阪経済大学経営学部の西山豊助教授。

飛行力学的にブーメランがなぜもどってくるかを解明した。挑戦してみると、驚くほど簡単にもどってきた。8畳程度の広さがあればよく、ほんの少しの練習でパシッとカッコよくキャッチできた。

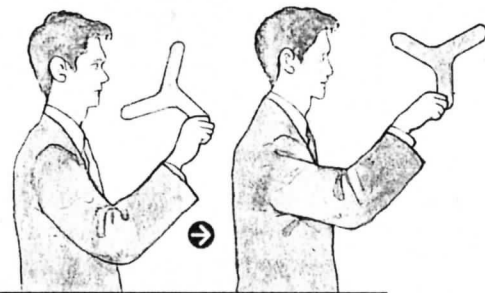


↑右が右利き用、左は左利き用のブーメラン。左利き用は、フラップの折る方向を右利き用の反対にして（谷折りする）、裏返しにする。写真ではどちらも表向き。



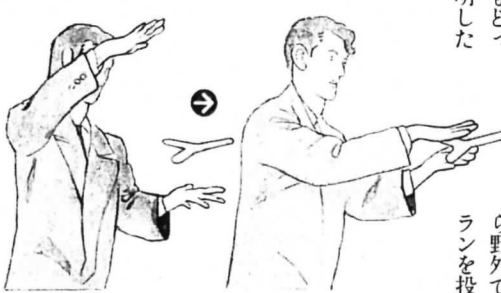
持ち方

↑ブーメランを投げる際には、必ず立てて持つ。翼の先端部分を親指と人差し指で挟むのが基本。そして表側を自分の頬に向ける。



飛ばし方

↑前方へ押し出すように投げる。手首のスナップを利かせ、強い回転力を与えること。放すのは、目の高さか適当だ。



つかみ方

↑縦に投げたブーメランは、必ず横倒しになって水平にもどってくるから、両手を大きく上下にかまえ、白刃取りのように挟んでキャッチ。